

赤れんが通信



2020年10月24日(土)から25日(日)まで、北海道庁国際課の金昭賢(キム・ソヒョン)国際交流員が帯広と釧路地域を訪問した時の活動の様子や、友好地域との交流事業について国際交流員のレポートをご紹介します。

雪の季節がやってきました。去年の冬には一晩で30cmぐらい積もった雪を見て「北海道クラス」を実感しました。大きな通りは早朝にも除雪作業が行われますが、家の前の路地は自分で除雪する必要があるので、雪がたくさん降った日の朝には、出勤する前に大きなスコップで「道」を作らなければなりません。車道と歩道が区別できないほど雪が積もるからです。雪かきをしていると「自分が進むところが道になる！」という言葉が思い浮かびます。

北海道外国人相談センター

困ったときに、何でもご相談ください



北海道には、地域で暮らす外国人が日常生活のトラブルを相談できる「北海道外国人相談センター」があります。このセンターには様々な国から来た職員たちが所属しており、相談員は母国語で迅速に回答します。

また、札幌市に拠点を置いたこの相談センターは、2019年9月から道内の地域を巡回し、移動相談会も開催しております。昨年10月、帯広と釧路で実施された移動相談会に取材に行ってきた。

北海道外国人相談センター

連絡先：011-200-9595

運営時間：平日 9-12、13-17時
(土日・祝日・年末年始は休日)

韓国語相談可能日：火・木 9-12時

=インタビュー=

エミリー・シュースター(英語相談主任)

Q. 北海道外国人相談センターでは、どんな言語に対応ができますか？

A. 北海道外国人相談センターには英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タガログ語を母国語とする職員が常駐しています。モンゴル語のように担当職員が常駐しない言語の場合、電話通訳サービスを利用することもあります。

Q. 移動相談会では、地域によって特徴がありますか？

A. 滞在する外国人の割合によって地域差があります。ニセコ、倶知安には中国の方が多いです。帯広では畜産大学に留学している学生たちや技能実習生の相談の割合が高いと思います。一方、日高地域には、馬牧場があって、インドやネパール出身の方の相談が多いです。

Q. 最近はどのような問い合わせが多いですか？

A. 新型コロナウイルスの影響で、外国人の在留資格及び運転免許に関する相談が増えました。日本では運転免許試験場を訪問する前に電話予約が必要ですが、日本語での会話が難しい方々のために予約を代行する場合があります。

Q. この業務の難しいところは何か？

A. 私も外国人なので、日本の制度や法律に詳しくない部分があります。年金や税金などに関する相談を受け付けたら、専門家の意見を聞いた後、回答をしています。正確な情報を素早く回答するためには、日頃からの調査と勉強が必要です。大変なこともあります。北海道で暮らす方々の役に立てて、やりがいを感じています。

Q. 豊富な知識が必要なお仕事ですね。生活の中で気になったことについても相談できますか？そして、対応できない分野もありますか？

A. はい、もちろんです。「タトゥーを消せるお店」、「ペットの予防接種ができる病院」などを相談される場合もあります。外国人がローカルの情報を調べることで、簡単ではないからです。私たちは多分野にわたる対応をしていますが、例外的に、医療現場での通訳は、専門的な訓練を伴うため、対応できません。

出張先の紹介

【帯広】

帯広は十勝平野の中心部に位置し、畑作と畜産業、酪農業が盛んな地域です。乳製品はもちろん、地域で育てた小麦、小豆、ビートなどを加工して製造した食べ物が多くて「デザート王国」としても有名です。豚肉や肉加工品も美味しいと言われるため、炭の香る分厚い豚肉をご飯の上に乗せた豚丼はこの地域を訪ねた観光客なら、一度は食べてみたい名物です。帯広には、人気ドラマ「なつぞら」の背景になったロケ地、日本初の針葉樹ガーデン「真鍋庭園」、「幸福駅」などの観光名所があります。(JR特急列車で、札幌から約3時間所要)



JR特急とかち号



地域の「豆」と「小豆」で作った作品



豚丼



デザート王国！

【釧路】

釧路は道東に位置し、この地域には国立公園及びラムサール条約に指定された「釧路湿原」があります。市内から釧路湿原までは、バスで30分ぐらいで行けるので、アクセスも良いです。入口付近の展望台から湿原の景色を楽しんだり、木道に沿って展望台を巡るトレッキングもできます。市内の規模は大きくはありませんが、風情ある川の風景とともに様々な見どころが存在します。新鮮な海産物や記念品などを購入できる商業施設「フィッシャーマンズワーフMoo」、釧路の台所「和商市場」、4つの彫刻像が設置されている「幣舞橋」などがあります。



北斗展望台から眺めた釧路湿原



釧路川の風景



フィッシャーマンズワーフMoo



幣舞橋から見える風景

ご当地グルメとしては、新鮮な魚介を炭火で焼く「炉端焼き」や「スパカツ」などがあります。スパカツは、鉄板スパゲッティとんかつのことです。熱い鉄板の上にパスタ麺を盛り込んでその上にとんかつをのせた後、ソースをかけた食べ物です。日本のとんかつはソースをつけて食べるタイプがほとんどですが、ここでは珍しくスパゲッティソースをかけて食べるのとんかつを味わうことができます。

B級グルメ「スパカツ」



ソウル特別市 交流10周年記念

10周年記念行事

去る10月、北海道千歳高等学校を訪問し、行事を行いました。この学校はソウル市内の高校と交流をしており、第2外国語で韓国語を勉強しているほど、韓国に興味を持っている生徒さんがたくさんいました。

当日は、ソウル特別市と北海道の友好提携10周年を記念し、金昭賢国際交流員が生徒たちにソウルの名所などを紹介しました。生徒たちはこれまで磨いてきた韓国語を發揮してソウル市民に送るコロナを乗り越える応援メッセージを書িয়েくれました。



ソウル DAY

道庁では、ソウル特別市との友好提携を記念し、毎年、締結した10月頃、ソウル特別市を紹介する「ソウルDAY」を実施しております。今年はソウル市の名所の写真及び解説とともに、これまでの交流の沿革、北海道千歳高等学校の生徒さんの応援メッセージを展示しました。

一方、今月中には交流の一環として、図書を相互寄贈する行事を予定しています。

コロナ時代のオンライン交流



実務協議オンライン会議

10月8日、北海道庁国際課は済州特別自治道庁の文化政策課とオンライン会議を実施しました。両地域はこれまで文化公演団の派遣及び映画人の交流など、文化分野における民間交流を盛んに行ってきています。今回の会議は、今年に予定された友好提携5周年の記念事業の実施に向け、相互協力を約束する場になりました。

済州国際青少年フォーラム オンライン事前研修

済州島では毎年、グローバルリーダー育成を目的として、友好関係がある国、地域から青少年が集まり、共通の課題について議論する「済州国際青少年フォーラム」が開催されています。去る11月、そのフォーラムの北海道代表参加者に対し、事前研修として、金昭賢国際交流員が済州を紹介しました。

参加者たちは「済州島は雪も多くて、新鮮な海産物で有名という点が北海道に似ている」、「韓国料理は辛い物ばかりではないということが分かった」との感想を聞かせてくれました。今年の済州国際青少年フォーラムは、11月27日から29日までオンラインにて盛況裡に開催されました。



韓国のお正月料理紹介

KITAGASファクトリー教室にて、金昭賢国際交流員が道産食材を活用した韓国のお正月料理を披露しました。この日は、お正月料理に欠かせない「トックク」をはじめ、カキのチヂミ、チャプチェ、プルコギを作って、盛り合わせ御膳を完成しました。撮影した動画及びレシピは、今後国際課のFacebookに掲載される予定です。

✓ 赤れんが通信
バックナンバー
韓国版はこちら



✓ 北海道庁
国際課
FACEBOOK



✓ 編集者・発行先 総合政策部 国際局 国際課
北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL : +81-11-231-4111 FAX : +81-11-232-4303

